

# すこやか

令和2年8月26日  
西栗栖小学校保健室



今年、新型コロナウイルス感染症と連日の猛暑で異例の夏でした。  
まだまだ暑いですが、新型コロナウイルス感染症と熱中症の予防を続けて行きましょう。



## 学校生活を安全に過ごせるように熱中症対策をしています

地球温暖化やヒートアイランド現象の影響により、年々暑さが厳しくなる中、日常生活において熱中症予防のための適切な対策が必要となります。とくに今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により夏休みが短縮され、例年にない暑い中での学校生活を送っています。

熱中症チェッカーで暑さ指数(WBGT)を測定することにより熱中症予防のめやすになります。

学校では、熱中症チェッカーで暑さ指数(WBGT)を測定し、外遊びや運動ができるかどうか判断しています。



暑さ指数(WBGT)とは、気温・湿度・輻射熱の3つを取り入れた温度の指針です。

暑さ指数(WBGT値)

31℃以上

原則運動中止

28～31℃

厳重警戒

25～28℃

警戒

21～25℃

注意



「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3」

日本生気象学会

「熱中症予防運動指針」(2019)

公益財団法人日本スポーツ協会

8月21日の業間休み、暑さ指数(WBGT値)運動場は31℃、体育館は26℃でした。そのため、運動場での外遊びはできませんでした。体育館では、1・2年生はドッジボールをして遊びました。外で遊ばなくても、どの学年も教室でじょうずに過ごしています。また、少し涼しくなったら外で元気に遊びましょう。



こまめに、手洗いや水分補給もしています。



5・6年生教室では、あやとりをして遊んでいました。飛沫を防ぐためマスクをつけて、新型コロナウイルス感染症対策にも気をつけています。



1・2年生は、ドッジボールをして遊んでいました。密にならないように広々と体育館を使っています。



みんなの安全のため、体育館での遊びも、必ず先生がいます。この日は、国枝先生が見守ってくださいました。

4年生教室では、プリントの整理をしている人や本を読んでいる人、動いて体をほぐしている人など、それぞれにいい時間を過ごしていました。



3年生教室では、紙飛行機を飛ばして遊んでいました。室内では、走り回らずにじょうずに遊んでいました。

